

低炭素杯のご紹介

■ 低炭素杯の趣旨

全国各地で活動する学校・市民団体・NPO・企業などの低炭素社会作りに向けて取組まれている優れた活動を、発信し、様々な方々と交流を深め、学び合い、連携の輪を広げる場として、「低炭素杯」を開催しています。

■ 低炭素杯の特徴

- 低炭素社会を具体化するためのモデルとなる草の根の活動を全国から募集し、選抜された団体が一同に会して、プレゼンテーション形式で競い合う、2日間のイベントです。全国を対象に優れた低炭素社会づくり活動を表彰する、わが国唯一のイベントです。
- エントリー団体は、「地域活動部門」「学生生活部門」「企業活動部門」「ソーシャルビジネス部門」の4部門別で競います。最優秀団体には、環境大臣賞(グランプリ)等の賞が授与されます。

「低炭素杯2012」では、東日本大震災の 救援・復興・節電に寄与した活動を表彰するための特別賞、協賛・協力企業からの賞、審査員特別賞が選定され、表彰を受けました。

- 低炭素杯ではエントリー団体プレゼンだけでなく、これからの低炭素社会に向けて、様々なステークホルダーが参加したシンポジウムを開催します。

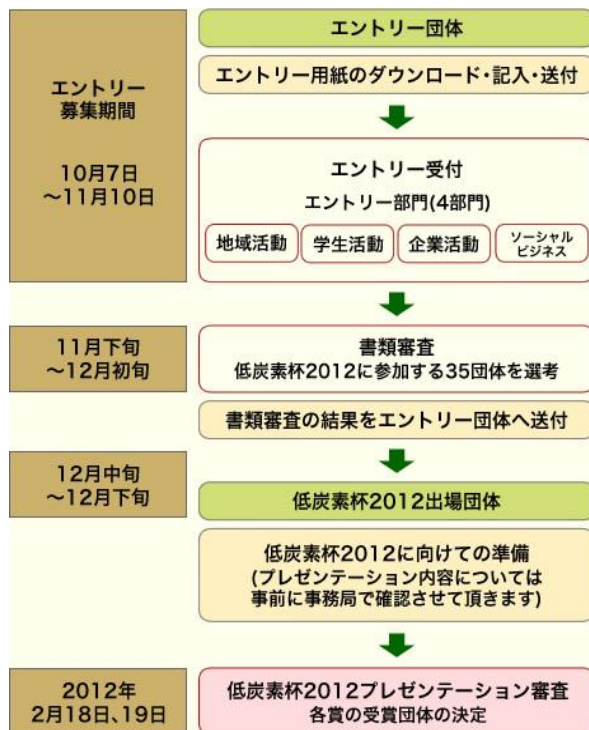
「低炭素杯2012」では、英国の環境政策アドバイザーのBound氏の基調講演とパネルディスカッションを開催し、国際的な視野から、日本の低炭素社会への取組を話し合いました。

- 低炭素杯では草の根の活動団体の地域における活動をフォローアップしていきます。
- グランプリ、部門賞を受賞した団体には造形家の齊藤公太郎氏が作成したトロフィーが授与されます。

■ 民間主導・協働の事業展開

- 本事業は、関係団体、機関が実行委員会を組織し、小宮山宏氏(三菱総合研究所理事長、東京大学総長顧問)を実行委員長として、民間資金を集め、その資金を活用して取組む事業です。
- 2007～2010年まで行われた「ストップ温暖化『一村一品』大作戦」を引き継ぎ、2011年から「低炭素杯」として、実行委員会が主催し、毎年開催しています。

低炭素杯2012のエントリー



「低炭素杯2012」トロフィーは、石巻市のがれきを使って、東日本大震災で被害を受けた石巻市立湊小学校の子ども達と造形家の齋藤公太郎氏の協同で作成しました

低炭素杯2011

- 日時／会場：2011年2月5日～6日／東京大学・安田講堂
- エントリー／プレゼンテーション数：70団体／47団体
- 主催：低炭素地域づくり全国フォーラム実行委員会
- 共催：東京電力株式会社、トステム株式会社、一般社団法人地球温暖化防止全国ネット
- 協賛：OMソーラー株式会社、木原木材店、株式会社ぎょうせい、佐川急便株式会社、株式会社損害保険ジャパン、株式会社ポッカコーポレーション
- 後援：環境省
- 低炭素杯全体プログラム
 1. エントリー団体のプレゼンテーション
 2. 分科会「地域づくりとコミュニケーション」
 3. 記念シンポジウム「エコで快適な住まいで低炭素社会を実現しよう！」
 4. 審査結果発表と表彰式

低炭素杯2012

- 日時／会場：2012年2月18日～19日、東京ビッグサイト(国際会議場)
- エントリー／プレゼンテーション数：108団体／41団体
- 主催：低炭素杯2012実行委員会
- 共催：株式会社LIXIL、一般財団法人セブン・イレブン記念財団、日本マクドナルド株式会社、一般社団法人地球温暖化防止全国ネット
- 特別協力：ブリティッシュ・カウンシル
- 協賛：株式会社オルタナ、特定非営利活動法人気象キャスターネットワーク、木原木材店
- 後援：環境省
- 低炭素杯全体プログラム
 1. エントリー団体のプレゼンテーション
 2. 特別シンポジウム「ひと・まち・暮らし・低炭素地域づくり」
 3. 審査結果発表と表彰式

低炭素杯2013 開催予定

2013年2月16日(土)、17日(日)、東京ビッグサイト(国際会議場他)
低炭素杯2013の内容、低炭素杯2012の詳細は、低炭素杯2012ホームページをご覧ください。

<http://www.zenkoku-net.org/teitansohai2012/>